

2007-4-13

ふじさわ・九条の会ニュース



NO8

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斉藤隆夫 0466-35-7104
Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>



「憲法9条を変えたら世界はどうなる」 マイケル・シーゲル神父の お話を聞く

—「ふじさわ・九条の会」と「カトリック横浜教区正平協」と共催—

2007年1月14日、カトリック藤沢教会聖堂にて「ふじさわ・九条の会」と「カトリック横浜教区正義と平和協議会」との共催で、南山大学助教授マイケル・シーゲル神父をお呼びして「平和を考える新春の集い」講演会を行いました。参加者は、200名を超えました。当日共催した「カトリック横浜教区正平協」の浦田巨子さんより次の様な感想が寄せられました。

講演会に参加して

「カトリック横浜教区正平協」 浦田巨子

この度は「ふじさわ・九条の会」の皆様と一緒に講演会を開催できた事を心から感謝いたします。私たち「カトリック横浜教区正義と平和協議会」（正平協）は小さくされた者たちの側に立ちいつも共におられたイエスキリストに倣って、彼等の側から、彼等の代弁者として共に正義と平和実現のため、微力ながら活動を続けているグループです。難しいことを言いましたが、その根底にあるものは、すべての「いのち」は大切にされなければならないということだと思います。

私たち「正平協」は昨年5月、二俣川教会でマイケル・シーゲル神父さんをお呼びして「憲法9条を変えたら世界はどうなる」という講演会を開きました。その講演会の参加者の中に岡村孝子さんがいらっしゃいました。岡村さんはシーゲル神父さんのお話非常に感銘を受けられ「藤沢でも是非講演会を開きたい」と。それが今回の「ふじさわ・九条の会」と「正平協」共催の講演会実現になりました。共催とは言え、ちらし作り、広報活動、講師との連絡等々、9条の会の皆様に負と



—カトリック藤沢協会聖堂で行われた講演会—

ころ大で、当日を迎えました。当日、受付係りをしていた私たちは殺気立つほど多くの方が押し寄せ、用意していたレジメが無くなり、大慌てで、教会の事務所で刷り増しするほどでした。後で200人ほどの参加者があったと分かり、思わず歓声をあげてしまいました。一人でも多くの人に9条の大切さを知ってもらいたいとの私達の意図が伝わったと喜ばしい気持ちになりました。

講演会の後、シーゲル神父さんを囲んで遅い昼食を食べながら、反省会をしました。その席上、シーゲルさんが、「今まで9条は変えた方がいいと思っていましたが、神父さんの話を聞いて考えが変りました」とわざわざ言いに来てくれた人がいましたと発言され、その言葉に私は今後の活動に向け、とても勇気を頂いた気が致しました。

「ふじさわ・九条の会」も「正平協」も活動の場は違っていても求めるものは同じです。平和で安心して住める社会が実現していくよう与えられた力を思いっきり注いで行きたいと思います。

「国民投票法案」の問題点

お金で憲法が

買われる危険

憲法を変えるにあたって、主権者である「国民の承認」があったというためには、

- ①国民投票運動が自由に十分に保障されること
- ②中立で公正な情報の提供が保障されること
- ③投票結果に国民の意思が正確に反映されることが必要です。

しかし、今の国民投票法案は、これらの点で幾つもの重大な問題があります。

国民の運動についてのマスコミの有料広告、有料PR番組を全く自由にしています。お金を出して、マスコミを利用し、広告・宣伝するのは、全く自由です。もし、それが許されるなら、お金をたくさん用意できる側が、圧倒的に有利になるに決まっている。CMの量の比率が、1対5とか、1対10なんてことになったら、これはもう勝負になりません。じゃんじゃん大量に流せば、表現の優劣をこえて、確実にマインドコントロールの作用が働きはじめることになるでしょう。憲法改定のような大問題については、意見CMが公平に行われるように、きちんとしたワケが必要です。

<3月の9の日行動>

「国民投票法案」 街頭アンケート

3月9日の空気は冷たく、指先が凍えそうな気温。15時から16時30分の1

時間半でしたが、若い高校生も含め、多くの方がシール投票に参加してくれました。

「憲法改正手続き法案」に

反 対	160人
賛 成	9人
判らない	8人

若い人たちはシールを貼る前に、「9条の会」の会員と話し合い、自分の判断でシールを貼っていました。

シール投票はただのチラシを配るのとは違って、憲法についての話し合いができるのが、とても良い。カンパも5000円頂き、感謝 感謝。

そして寒い中、参加してくれた皆さん、ご苦労様でした。来月もよろしく！



胸を打つ、戦時中の女生徒の思い

一湘南白百合学園の学徒勤労働員の記録一

戦後60年を過ぎて、戦争体験者が高齢になられてきた今、加害体験も被害体験も直接お聞きするにはもう時間が限られてきました。生の声で語られる内容には、歴史資料にも現れないその時、そこに生きていた人間の生の姿があります。ここに紹介する「戦争と湘南白百合学園の生徒たち—乃木高等女学校のころ—」という手作りの冊子は、昭和19年～20年にかけて行われた湘南白百合学園(旧乃木高等女学校)の学徒勤労働員の記録です。

当時、3年生から5年生(14歳から16歳)の女生徒が、藤沢市内の東京螺子工場、横河電気工場、大船の中島飛行機工場などに、学業を中断して勤労働員されました。学校内にも、刀の柄巻き作業工場が作られました。教科書にも書かれていない戦争中の女学生の様子を、後輩の教材になるようにという意図で編集されたものです。国策にのっとり、学業もままならず、命ぜられるままに軍需工場に働きに行かされた女学生の姿が細かい記録の中から浮かび上がってきます。藤沢駅まで行ったけれど列車に乗れずに辻堂まで走って工場に行ったこと、「お国の為に」という純粋な気持ちで働いて、賃金をいただいてびっくりしたこと、等などつらいとも思わず必死にお国を支えたことがたくさんの手記として寄せられています。

今こそ、こうした記録を残していくことが急務になっているのではないのでしょうか。(折原美知子)



一当時の学徒勤労働員作業日記一

＜春を呼ぶ辻堂文化祭＞

「辻堂文化九条の会」 発足に向け、アピール

3月21日、辻堂公民館「春を呼ぶ辻堂文化祭」が開催され、出席した皆さんによって、「辻堂文化九条の会」発足へのアピールが確認されました。文化祭では、合唱、絵本朗読、戦争体験談、などが語られ、また、日頃の生活の中で制作された想いのこもった作品—絵画・イラスト・写真・短歌・陶器・像・著書・手芸なども紹介されました。

九条の会発足に向けてのアピールでは「辻堂の地にねざす平和・文化の推進を図る活動の場が、革新的な辻堂文化を継承して、私たちの平和文化の交流の場として、また世界平和への発信の場として、これからさらに大きくなってゆければ何よりの喜びです。私たちは本日ここに、名称を「辻堂文化九条の会」として、年内の早い時期に正式に発足することをアピールしたいと思います。」と述べられています。

また、参加者の中から、若者からのメッセージが読み上げられました。

若者からのメッセージ

私にとって平和とは、将来やりたい事を実現するための方法だと思う。最近の若者はそういった事を全く考えてなく平和ボケしているという人がいるけれど、私のまわりではその様な事はないと思う。みんな戦争はきらいだし悪い事だと思っている。ただ平和を訴える手段がわからないだけ。

私が平和を考えるきっかけになったのはビキニ諸島で行われた「ブラボー実験」。この写真をみると寒気が走る。きれいな海を中心に不気味な円をえがいている。何が起きたのかだれだってわかる。他にも戦争時の特攻隊・天海など、私たちには身近に考えさせる。核兵器だってどんどん作ってしまっ、やめても、どうやって処分するのだろうか。

私は将来飲食関係の仕事がしたい。平和があるからこそ、食べる事も出来る。九条YES！ 若者だってそれなりに考えているのだ。最近の若者はなどと言わないで。

アレセイア湘南高校一年 二瓶智弘

—1月27日—

「湘南台九条の会」 発足準備会開く

1月27日、「湘南台九条の会」発足準備会が開かれました。湘南台在住の上野武雄さんほか6名の呼びかけにより開かれたものです。発足準備会には十数名の地域の皆さんが集まり、会則案、役員体制などの案が話されました。話し合いの中で、代表、事務局長、事務局員、世話人、会計などの人選も進み、年内発足に向け準備が進められています。

「湘南台九条の会」が結成されると、北部地域には「六会・九条の会」に引き続き二つめの地域九条の会が発足することになります。

私の戦争体験記 第2集

—原稿・募集します—

昨年10月、「私の戦争体験記」第1集を発行したところ、手作りで印刷製本した600部、あつという間に売り切れてしまいました。増刷も考えましたが、会員の皆さんから執筆の希望もよせられ、多くの皆さんに戦争体験を語って貰うことが何よりも大切と考え、第2集を発刊することに致しました。「忘れまい あの日のこと、あの人のこと」を合い言葉に、どうか貴重な戦争体験をお寄せ下さい。皆さんの貴重な体験を、忘却の彼方に埋もれさせてしまうのではなく、文字にして記録に残しましょう。

＜応募要領＞

字数	1300字くらい
投稿方法	メール、ファックス、ワープロ 手書きでも可
〆切	5月末まで
発行	7月末予定
原稿宛先	「ふじさわ・九条の会」役員 又は ニュース担当者（小林麻須男、永田陽子、折原美知子、河西昇）まで 直送の場合～小林麻須男まで 〒252-1831 藤沢市亀井野 1371-5 tel・fax 0466-44-0375 Eメール mk-muran@cityfujisawa.ne.jp

5月19日「ふじさわ・九条の会」 結成2周年のつどいを開催します

5月19日、ふじさわ・九条の会結成二周年の集いを開催します。今回は、多くの人にふじさわ九条の会を知って頂くため、「経済同友会終身幹事の品川正治さんの講演」と「ウクライナの歌姫ナターシャ・グジーさんの歌とバンドウーラのコンサート」を企画致しました。

今回のニュースと同封して、会員の皆さまには当日精算券2枚を同封させて頂きました。集会には、ご家族、お友達など、是非カップルでご参加頂くよう御願ひ致します。

日時 5月19日(土) 13:00より

場所 藤沢市民会館・小ホール

参加費 1000円

会の世話人を募っております

昨年総会で、37名の方が世話人になって頂きました。しかし今年は、ご高齢、一身上のご都合等で世話人を降りる方が多く、新しく世話人になって頂ける方を募っております。やって頂ける方は、総会までに、ぜひ、事務局までお申し出下さい。

6月26日 映画 「日本の青空」藤沢で上映会

この映画は、戦後、GHQの案が出来る前、日本の憲法学者自らが作成した憲法草案作りの動きを映画化したものです。

鈴木安蔵を中心とした「憲法研究会」で作成され「国民主権」「象徴天皇制」案がGHQ案に取り入れられる経過を理解する上で貴重な映画です。

日時 6月26日(火) 3回上映

午前10:00～ 午後14:00～
夕方19:00～

場所 藤沢市民会館小ホール

協力券・前売り券 1000円

なお試写会を5月30日(水)藤沢労働会館ホールで行います(19:00～21:05)

<問い合わせ先>

ふじさわ・九条の会事務局

斉藤 35-7104 見城 36-8916

金子 26-7710 永田 34-1986

5・19「ふじさわ・九条の会」結成2周年

講演と文化のつどい

第1部～講演

経済同友会終身幹事 品川 正治さん

戦争、人間、そして憲法九条

＝世界人が語る平和憲法の重み＝

大正19(1924)年 兵庫県生まれ、東京大学法学部卒業、日本海軍省省保険株式会社(旧日本火災海上保険)会長や経済同友会副代表幹事、有識者などを歴任された財界人。現在は経済同友会終身幹事、財団法人国際開発センター会長



第2部～コンサート

ウクライナの歌姫・バンドウーラ奏者

ナターシャ・グジーさん

＝バンドウーラが奏でる平和への祈り＝

チェルノブイリ原子力発電所の爆発事故から21年、破壊の苦しみを通り越え、バンドウーラにのせた美しい歌声が、平和への祈りとなって、私たちの心に響き渡ります



第3部～全体集会

「ふじさわ・九条の会」の今後の取り組みについて話し合います。

日時 2007年5月19日(土)
開場12:30 開会13:00
場所 藤沢市民会館 小ホール
参加費 1000円 (参加券希望者は下記まで)
主催 『ふじさわ・九条の会』
(連絡先) 齊藤 隆夫 0466-35-7104
新塚美知子 0466-26-3321



← 藤沢市民会館小ホール

ーふじさわ・九条の会2周年の集いチラシー

<事務局より>

ご意見募集

「9条世界会議」団体賛同金について

2008年5月「9条世界会議」という大規模な国際イベントが東京で開催が予定されます。発起人は井上ひさし氏他、学者文化人です。

賛同金として団体1口10000円拠出が求められています。当会も賛同して行きたいと考えますが、ご意見のある方は4月25日の世話人会までお寄せ下さい。

当面の日程

4月25日 世話人会議 18:30～
市民活動推進センター

4月29日 憲法学習会「改憲手続き法案を巡る動きと私たちの運動」 湘南学習会議と共催 14:00～
藤沢産業センター6F第二研修室

5月 3日 9の日行動 10:30～12:00
藤沢駅サンパール広場

5月19日 ふじさわ・九条の会2周年集会

5月30日 映画「日本の青空」試写会